

マキシマムGコート塗膜特性

(ガラス塗膜形成ハードコーティング剤)

1. 基材：SUS304 (JIS K5600-1-4 試験用標準試験板準抛、研磨)

塗工液：BC-101b+UV

硬化条件：常温 3 日間以上経過後試験

膜厚：4 μ m (JIS K5600-1-7 膜厚準抛)

試験項目	試験方法	結果
① 鉛筆硬度	JIS K5600-5-4 引っかき硬度 (鉛筆法) 準抛 条件：三菱鉛筆ユニ、角度 45°、荷重 750g	8H 以上
② 耐傷性	スチールウール試験 条件：#0000、荷重 1kg \times 100 往復	傷なし
③ 付着試験	JIS K5600-5-6 付着性 (クロスカット法) 準抛 条件：1mm 方眼 100 個、セロテープ剥離テスト、付着目数/100	100/100
④ 耐衝撃性	JIS K5600-5-3 耐おもり落下性準抛 条件：落球試験機 (デュボン式)、質量 500g、高さ 30cm、t=0.6mm	異常なし
⑤ 耐屈曲性	JIS K5600-5-1 耐屈曲性 (円筒型マンドレン法) 準抛 条件：折り曲げ試験装置 (タイプ 1)、6mm ϕ 、t=0.3mm	異常なし
⑥ 耐水性	JIS K5600-6-2 耐液体性 (水浸漬法) 準抛 条件：①50℃温水 10 日浸漬、②80℃温水 2 時間、③30 分煮沸 評価：K5600-8 塗膜劣化の評価、鉛筆硬度、付着試験	異常なし 8H 以上 100/100
⑦ 耐湿性	JIS K5600-7-3 耐湿性 (不連続結露法) 準抛 条件：50℃ \times 98% \times 240 時間	異常なし
⑧ 耐酸性	JIS K5600-6-1 耐液体性 (一般的方法) 準抛 条件：点滴法、5%硫酸水溶液 24 時間	異常なし
⑨ 耐アルカリ性	JIS K5600-6-1 耐液体性 (一般的方法) 準抛 条件：吸収媒体法、水酸化カルシウム飽和溶液 24 時間	異常なし
⑩ 耐溶剤性	JIS K5600-6-1 耐液体性 (一般的方法) 準抛 条件：浸せき法、50℃10 ⑩ 耐溶剤性 分、溶媒：アセトン、メタノール、トルエン 評価：K5600-8 塗膜劣化の評価、鉛筆硬度、付着試験	異常なし 8H 以上 100/100

⑪ 耐ラビング性	ラビング試験 条件：荷重 500g×10 往復、溶媒：アセトン、メタノール、トルエン 評価：K5600-8 塗膜劣化の評価	異常なし
⑫ 耐熱性	JIS K5600-6-3 耐加熱性準拠 条件：80℃×200 時間、評価：K5600 塗膜劣化の評価、測色	異常なし △E=0.5 以下
⑬ 耐寒性	条件：-18℃×72 時間 評価：K5600-8 塗膜劣化の評価	異常なし
⑭ 冷熱繰返	条件：80℃×2 時間→-18℃×2 時間、10 サイクル 評価：K5600-8 塗膜劣化の評価	異常なし
⑮ 促進耐候性	アイスーパーUV テスター 条件：100mW、60℃、70%RH、200 時間 評価：K5600-8 塗膜劣化の評価、K5600-4 測色、光沢度保持率	異常なし △E=0.5 以下 95%以上
⑯ 燃焼性	ガスバーナーで塗膜面を燃焼させる（1000℃程度）	不燃
⑰ 耐汚染性	汚染物質に 20℃で 24 時間接触させた後、溶剤で拭き取る 条件：油性マジック黒・赤、評価：目視観察	異常なし
⑱ 耐塩水性	K5621 一般さび止めペイント準拠（鉄板、銅板、Mg 板） 条件：3 種、塩化ナトリウム溶液、96 時間浸漬	異常なし
⑲ 表面抵抗 (Ω)	JIS K6911 熱硬化性プラスチック一般試験方法準拠 条件：常態(C-96/20/65)、電圧 DC500V、PC 板 (Control 10 の 17 乗)	10 の 12 乗

本結果は、現時点で得られている実測値です。